

大分大学 アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	教育学研究科	学科・専攻・課程	教職開発専攻
--------	--------	----------	--------

最終更新日	2021年12月15日
-------	-------------

ディプロマ・ポリシー	
1	学校や教職の社会的役割と果たすべき使命を理解し、ビジョンを持って学び続けることができる。(DP1「使命感・責任感」)
2	学校経営、教科指導、学級経営、生徒指導、特別支援教育などの高度な専門的知識を有し、理論と実践の往還を通じた教育を具現化できる。(DP2「専門性・実践力」)
3	高度な専門的知識を基盤にした省察を行うことで、未経験の課題にも対応しうる教育を創造できる。(DP3「省察力・創造性」)
4	学校の多様な課題に対し、高度な専門性を発揮できる組織の中核的なリーダーとして、他者と協働しながら解決を図ることができる。(DP4「協働性・先導力」)

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して、適切な履修指導、支援が行われていること
6	教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名称	実施時期	実施頻度	対象	チェック内容・項目	対応 DP				評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準										
								1	2	3	4				1	2	3	4	5	6	7	8			
1	実施中	客観試験	教員採用試験合格者調査	6月～9月	毎年	全学年	合格率	●	●	●	●	就職・進路支援室、教職大学院学生指導部会	都道府県・政令指定都市教育委員会	合格率により、目的養成としての機能評価およびカリキュラムの総括的な質的指標とする。	●	●									●
2	実施中	修了判定資料	修了者数と残留者数調査	3月	毎年	2年生	修了者数と残留者数と残留理由		●			教職大学院領域代表部会	教職大学院領域代表部会	残留者について、残留理由をチェックし、指導教員と連携して指導する。	●	●			●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	成績判定資料	単位取得状況調査	9月、3月	毎年	全学年	単位取得状況不良	●	●	●	●	教職大学院学生指導部会	教職大学院学生指導部会	成績不良者について、指導教員を通して面談を行い、面談結果の収集、指導を行う。	●	●			●	●	●	●	●	●	●
4	実施中	質問紙	資質能力変容調査	4月2月	毎年	1年2年	基礎理論科目（必修）に関わる資質能力、高度専門科目に関わる資質能力、研究能力に関わる資質能力	●	●	●	●	大学院生	教職大学院調査研究・FD部会	結果を翌年以降のカリキュラムおよび学生指導体制の検討及び改善に利用する。	●	●	●		●			●		●	●
5	実施中	質問紙	授業別授業評価	8月、2月	毎年	1年	カリキュラム満足度	●	●	●	●	大学院生	教職大学院調査研究・FD部会	結果を翌年以降のカリキュラムおよび学生指導体制の検討及び改善に利用する。		●	●	●	●						
6	実施中	質問紙	教育学研究科改善のためのアンケート	1月	毎年	2年生	授業、設備、学生生活の充実度	●	●	●	●	大学院生	教育学研究科運営委員会	教育学研究科の授業等の改善に利用する。			●	●	●	●					
7	実施中	成績分布表	成績分布状況調査	8月、2月	毎年	全学年	偏りの大きな科目のインタビュー調査	●	●	●	●	教職大学院教務部会	教職大学院教務部会	成績評価の偏りを確認し、厳密な評価が実施されているかどうかの確認やカリキュラム改善を行う。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	実施中	インタビュー	教職大学院実習運営状況調査	2月	毎年	全学年	実習に関する協議	●	●	●	●	教職大学院実習運営協議会（外部委員を含む）	教育学研究科運営委員会	結果を翌年以降の実習科目および学生指導体制の検討及び改善に利用する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9	実施中	インタビュー	教職大学院教育課程調査	1月	毎年	全学年	カリキュラムに関する協議	●	●	●	●	教職大学院教育課程協議会（外部委員を含む）	教育学研究科運営委員会	結果を翌年以降のカリキュラムおよび学生指導体制の検討及び改善に利用する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10	実施中	インタビュー	教職大学院ホームカミングデイ時の修了生調査	8月	毎年	修了生	修了生の資質能力に関するインタビュー調査（自己評価）	●	●	●	●	修了生	教職大学院調査研究・FD部会	結果により、目的養成としての機能評価およびカリキュラムの総括的な質的指標とする。	●	●	●	●	●						●
11	実施中	インタビュー等	修了生の学修成果の検証に係る学校訪問調査	2月	毎年	修了生	修了生の資質能力に関するインタビュー調査（他者評価）等	●	●	●	●	修了生、所属校管理職、地教委	教職大学院調査研究・FD部会	結果により、目的養成としての機能評価およびカリキュラムの総括的な質的指標とする。	●	●	●				●	●	●	●	●
12	実施中	報告会	教育実践研究報告会	2月	毎年	2年生	教職大学院における教育実践に係る研究成果	●	●	●	●	専任教員	教育学研究科運営委員会	結果により、翌年以降の研究指導体制の検討及び改善に利用する。	●	●	●				●	●	●	●	●